

## ■ 現地視察研修 ■ 11/27(水) 21名参加

### 『 荒金鉱山の歴史・施設見学と岩美の海と自然 』（故郷をたずねて②）

目的：1943年9月10日に発生した鳥取大地震により旧荒金鉱山の鉱泥の沈殿池が決壊し、朝鮮人労働者を含む65名の方が亡くなられ、今なお20余名の遺体が泥の中に残されている。災害時における命の尊さを学ぶと共に異国の地で亡くなられた方々の無念を感じ、現地の歴史的施設を見学したり話を聴くことにより人権の大切さを再認識する。



荒金供養塔 地震でなくなった方の名前が刻まれている

供養塔を祀る会の中村さんに荒金鉱山の歴史、鳥取大地震で多くの尊い命が奪われた悲しい事実、国境を超えて捜索作業が行われたこと、現在では慰霊祭もされている様子などをお聴きした。供養塔に手を合わせ冥福をお祈りした。



鉱山跡では坑道内見学、坑廃水処理場を見学。鉱害防止協会のみなさんが鉱害防止事業、河川環境整備等に尽力されている



参加して・・・荒金鉱山の長い坑道は往時を偲ばせ、鳥取大地震によって地元の人のもとより朝鮮半島の若い人たちの尊い命がなくなったこと、また、坑内から流れ出る硫酸銅を含む水を現在も中和する作業が続いていることなど、荒金鉱山の歴史にふれ、学習するよい機会となった。



海と大地の自然館では3D映像視聴し、山陰ジオパークの成り立ち、地層などを学習